

平成22年度
まちづくり活動助成団体
活動成果報告会

2011/5/21

平成22年度にまちづくり活動助成を受け、地域“魅力”アップ部門6団体、まち“夢”工事部門3団体の活動成果報告会を開催しました。

第1部は「活動成果報告」、第2部は「ポスターセッション」を行い、各団体と参加者が交流・情報交換を図る場となりました。



【第1部】活動成果報告の様子



【第2部】ポスターセッションの様子

発表団体：地域魅力アップ部門



山崎川グリーンマップ

「山崎川の在来種保護の重要性を伝えるための生き物調査とハンドブック作成」



錦二丁目

まちづくり連絡協議会

「錦二丁目グリーンヒューマンプロジェクト～都心に生命のサンカを響かせよう」



名古屋南部
アレルギーの会

「アレルギー疾患の子どもとその保護者に対する支援活動」



清須越

400年事業ネットワーク

「清須越400年記念事業～名古屋の400年をふりかえり、次の時代への展望を開く」



中川運河チャンネルアート
実行委員会

「中川運河チャンネルアート」



moms.(ママズ)

「子育てママが地域をつくるまちづくりの一環としての「楽しく育てる」「みんなで育てる」子育て応援活動」

発表団体：まち“夢”工事部門



愛知守山自然の会

「市民が憩える自然生態園を目指して(散策路づくり)」



特定非営利活動法人
中部リサイクル運動市民の会

「地域の3R活動拠点の創設」



桶狭間町内会

「地域コミュニティ拠点の改修」

平成23年度
まちづくり活動助成
「地域“魅力”アップ部門」選考会

2011/6/12

皆さんが生活している身近な地域を、魅力的で住みやすい環境にするためのまちづくり活動に対して、まちづくり活動助成(地域“魅力アップ部門”、“はじめての一步”部門、まち“夢”工事部門)を行っ

ています。これまでに助成した団体数は延べ155団体となり、市民団体の活動の成果も様々な分野で生まれています。

地域“魅力”アップ部門に応募のあった14団体の公開選考と、“はじめての一步”部門に応募があった9団体の書類審査の結果発表が行われました。

その結果、地域“魅力”アップ部門では7団体が採用、“はじめての一步”部門

では6団体が採用されました。今後、実りあるまちづくり活動が期待されます。



プレゼンテーションの様子



プレゼンテーションの様子



公開質疑の様子



審査結果発表

だがね遠足～
まち並みを守るといこと

2011/3/5

毎年、夏休みに開催している「だがねランド」が、はじめて都市センターを飛び出して妻籠宿に行きました。小学生20人が名古屋市立大学教授の溝口正人先生と一緒に、実際のまちを見ながら「まちなみ」について学び、考える機会を持ちました。

子どもたちの「まちなみ」に対する意識の高さに驚きました。



企画展「のびる・つながる
名古屋の交通ネットワーク」

2011/3/8～5/8



この企画展では、名古屋の地下鉄や自動車専用道路という都市交通の建設の歴史を振り返るとともに、それらがまちにどのような変化をもたらしてきたかを、模型やパネル、映像などで紹介しました。また地下鉄初代車両の運転台実物や記念乗車券を展示したり、制服の試着なども行って市民に交通を身近に感じてもらいました。

シンポジウム
「名古屋都心部の活かし方」

2011/3/24



名古屋都市センターが事務局になって取り組んでいる都心ビジョン研究会が提案する、将来の名古屋都心部の姿について、ゲストコメンテータを始め、シンポジウム参加者の皆さんと意見交換をしました。

座談会
「語りたくらNight・ナゴヤ」

2011/3/25



名古屋の今、旬なスポットってどこ?を調べた結果をもとに、「意外な」「お洒落な」「なるほど」と思う…そんな場所について、夜景の素敵な金山南ビルで一緒に「語りたくら」ました。

アジアまちづくりセミナー
「東アジアからみた名古屋のまちづくり」

2011/3/29



今成長を遂げる東アジアの諸都市の中で、これからの名古屋および名古屋圏のまちづくりがどうあるべきかについて、その方向性・あり方を考える機会として、名城大学アジア研究所所長(当時)の福島茂さんにご講演いただきました。

企画展
「歩いて知ろう!なごやの魅力」

2011/5/10～6/5



名古屋市内に50ある「なごやかウォーク」コースを取り上げ、写真やコース図を用いながら、名古屋のまちの魅力を紹介しました。

あわせて各地域で区役所や市民が取り組んでいる魅力を活かしたまちづくり事例も実際に制作したマップや冊子とともに展示しました。

私のお気に入りの場所

【中区「県道田糲名古屋線」】

財団法人 名古屋都市整備公社 常務理事
水谷嘉則さん



ちょうど5、6月の今頃が花の盛りとなっているユリノキが、大木となって歩道に覆いかぶさっています。この道は県道田糲名古屋線という硬い名前がついており、大正時代に都市計画道路(一等大路第三類第27号線路線)として位置づけられているのですが、木陰が気持ちよく、昼休みには丸の内界隈の人々が散歩道として利用しています。

左手に名古屋城内郭の石垣を眺めつつ、江戸時代にこのあたりを行き来したであろう人たちに思いを馳せながら進んでいきますと、前方の交差点越に名古屋市役所本庁舎の時計台が見えてきます。

見上げるとユリノキの花が沢山咲いていますが、淡い緑と朱色からなる上品な花も下からでは黄色っぽく見えるだけです。人の都合に合わせては咲いてくれませんね。

